



No. 108

平成24年7月31日号

二輪車安全 普及協ニュース

発行所

一般社団法人
全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 井内 正晴

〒164-0012
東京都中野区本町 2-28-11
TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

Japan Motorcycle Safety Association News



全国二普協、一般社団法人に移行

平成24年度定時総会を開催

全国二輪車安全普及協会（全国二普協）は5月11日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で「平成24年度定時総会」を開催した。全国二普協は4月1日に一般社団法人への移行を完了。本総会が新法人移行後初めての定時総会となった。

総会では、平成23年度の事業報告及び決算、平成24年度の事業計画並びに収支予算、役員の選任について審議・承認した。

平成24年度の事業計画では、①二輪車安全運転普及活動の推進、②二輪車防犯活動の推進、③広

報活動の推進、④表彰の実施、⑤個人情報の保護の徹底、⑥一般社団法人移行後の諸手続の推進の一の6点を基本的な柱と定め、各種施策を推進することとした。このうち、「二輪車安全運転普及活動の推進」では特に、グッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）の全県開催を実現させることとした。

また、役員の選任については、福井威夫会長が新法人移行後も引き続き、舵取りを担うこととなった。

◆目次◆

■平成24年度定時総会を開催

福井会長あいさつ	2
石井隆之警察庁交通局長祝辞	2
平成23年度事業報告／平成24年度事業計画	3
活動実績優秀県表彰	6
意見交換会あいさつ	7

■活動報告

1. グッドライダーミーティングの開催状況	8
2. 高知県が高校生安全運転講習会	9
3. 指導員レベルアップ研修会の開催状況	10
4. 免許取得支援活動の活性化	11
■栃木県二普協が安全功労者内閣総理大臣賞を受賞	14
■DATA：交通事故／G防犯登録／盗難認知・被害回復	15



平成24年度定時総会あいさつ

社会に期待されるよう活動を推進

全国二普協会長 福井 威夫

平成24年度定時総会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙中にもかかわらずご出席をいただき、ありがとうございます。また、皆様には、平素から全国二普協の事業運営並びに諸活動に対しまして多大なご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに、この機会をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

はじめに、昨年の東日本大震災から1年余が過ぎましたが、地震ならびに福島原子力発電所の事故により、今も不自由な避難生活を余儀なくされている方々が大量おられます。心よりお見舞いを申し上げますとともに、皆様とともに、被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りしたいと思います。

さて、当協会は、去る3月22日に内閣総理大臣から一般社団法人の認可を受け、4月1日に登記をいたしまして、一般社団法人 全国二輪車安全普及協会として、新たな歩みを始めることとなりました。ここに改めて皆様にご報告申し上げますとともに、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年度の事業活動を省みますと、安全普及活動については、活動の大きな柱でありますGミーティングは震災の影響が一部でありましたものの、ほぼ予定通り全国41都道府県において94回開催することができました。また、講習終了時に実施したアンケート結果によれば、内容的にも有意義であったとのことで、好評を得ております。こうしたGミーティングをはじめ

として、官民挙げての交通事故防止活動が全国で積極的に展開されたことにより、昨年の二輪車乗車中の事故死者数は846人で前年より25人減少いたしました。しかしながら、その内訳では原付は333人で26人減少したものの、自動二輪は513人で前年より1名増加するなど、憂慮すべき点も残っております。今後も事故率の高い年齢層に焦点を当てた安全運転講習会の開催や店頭での個別安全指導の充実などを図ってまいります。

一方、防犯活動に関して見ますと、昨年の盗難認知件数は67,776件で、前年より5,715件減少するとともに、被害回復率も41.1%で前年より2.3ポイント増加し、年々改善傾向にあります。当協会が進めておりますG防登録運用を通じた防犯活動もこれに寄与しているものと考えられております。こうした中、昨年の国内4社の新車出荷台数に対するG防犯登録率は46.3%で前年を1.5ポイント下回る結果となっており、今後、G防犯登録率の一層の向上に向けた対策の推進を図っていかねばと考えているところであります。

最後に、国内二輪車市場は、ご承知のように長らく低迷状況が続いており、二輪車利用の促進に向けた全二普協を含む業界活動の活性化と効率化が一層求められております。そのため、今後も関係団体との緊密な連携・協力を図りながら、お客様、販売店様そして社会に期待される全二普協となるべく諸課題に取り組み、前進させていくこととしたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

平成24年度定時総会あいさつ



引き続き効果的な講習の実施を

警察庁交通局長 石井 隆之

ただいま、ご紹介を賜りました、警察庁の交通局長をいたしております石井でございます。

平成24年度、全国二輪車安全普及協会定時総会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

ご列席の皆様方には、平素から二輪車の交通安全と

防犯対策の推進につきまして、一方ならぬ御尽力を賜っていることに対し、この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げる次第でございます。

また、この度の、貴協会の一般社団法人移行につきまして、併せて、お慶びを申し上げたいと思います。

ただいま、二輪車の交通安全とグッドライダー・防犯登録制度の普及推進により盗難防止に多大な貢献をされましたご功績により、栄えある表彰を受けられました、宮城県、広島県をはじめ、各県の二輪車安全普及協会の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

さて、ご承知のように、昨年の交通事故につきましては、死者数が11年連続で減少し、4,612人となったほか、発生件数・負傷者数も7年連続で減少し、発生件数は平成4年以来19年振りに70万件を下回るといふ成果が出ています。

一方、昨年の二輪車事故の状況をみますと、二輪車乗車中に限って申しますと、死者数は、前年より減少したものの、このうち自動二輪車乗車中の死者数が前年より増加しております。

また、原動機付自転車では、65歳以上の高齢者の死者数が半数近くを占めている状況にあり、憂慮すべき状況だと考えております。

このような情勢を踏まえ、警察といたしましては、国民一人ひとりに「交通ルールを守る」という意識を浸透させるため、高齢者が多く集まる場所や機会を捉えた体系的な交通安全教育や、飲酒運転をはじめとした悪質性・危険性・迷惑性の高い交通違反の取締りを強化していくこととしています。

申すまでもなく、交通安全活動は、警察のみならず関係機関・団体が緊密に連携して、総合的に推進されてこそ、その目的が達成されるものであります。

皆様方におかれましては、「グッドライダーミーティング」などの安全運転講習の機会を通じまして、二輪車の交通事故防止活動に積極的に取り組んでいただいているところでありますが、今後とも引き続き、効果的な講習の実施に努めていただきたいと思います。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成23年度事業報告（要旨）

1 二輪車安全運転普及活動

(1) Gミーティング

○開催状況

- ・41都道府県で94回開催。受講者数3,133人。震災の影響で中止もあり、回数・受講者数とも前年を下回る
- ・初開催は4県、未実施が4県。

○推進状況

- ・参加者募集のため統一ポスターを作成し、全国に軒旋
- ・全国専務理事会議、普及協ニュースで全国の実施状況の情報提供
- ・全国統一の受講者アンケートを実施し、集計結果を分析して全国専務理事会議でフィードバック
- ・県からの要請に応じて講師を派遣

(2) 高校生及び高齢者に対する安全運転講習

- ・高校生に対する講習は26県・224校で開催、受講者数は17,575人
- ・高齢者に対する講習は7県・16回開催、受講者数は373人

(3) その他の安全運転講習への参加と協力

- ・県安協や県警等主催の各種交通安全講習への後援・

協力は24都道府県・589回、受講者数9,842人

(4) 原付免許取得支援活動

- ・「バイクと法令」「原付と安全運転」の改訂版の編集・発行。ホームページで紹介し情報提供
- ・「原付免許試験問題にチャレンジ」（通称「ゲンチャレ」）を新たに立ち上げ、ホームページで3月1日から運用を開始。3月末までの1ヵ月間のアクセスは30,797人で、旧サイトの前月1ヵ月間のアクセス5,371人を大幅に更新

(5) 二輪車安全運転推進運動

- ・秋の全国交通安全運動に合わせて、「二輪車ライダーの交通マナーアップを中心とした安全運転技能の向上」を重点項目に、街頭点検指導をはじめ安全運転講習等の運動を展開
- ・ヘルメットの正しい着用とプロテクター着用の重要性を訴えたポスター9,000枚、バイクの安全な乗り方の小冊子30,000部、安全防犯チラシ20万枚を配布
- ・街頭点検の実施回数は98回、点検指導台数は3,486台、各種交通安全講習会の実施回数は179回、受講者数は6,405人

(6) 関係機関との連携・協力

○二輪車安全運転全国大会への協力、支援

- ・東日本大震災被災3県を除く、44都道府県・174人が参加。後援団体として運営に参画するとともに、各クラス個人優勝選手4人にボディプロテクター付きジャケットなどを贈呈

○二推が実施する特別指導員・指導員の審査及び研修への協力

- ・特別指導員中央研修会（2回）、指導員養成講習会及び特別指導員審査（1回）への講師の派遣。県二普協は県二推実施の指導員審査に協力
- ・新たな資格認定者は、特別指導員28人、指導員115人の合計143人。平成23年12月末現在の総数は、特別指導員2,331人、指導員7,721人の合計10,051人

○関連団体イベントへの参画

- ・東京モーターサイクルショー、「交通安全。アクション2011」（自動車会議所）に参画
- ・東京モーターショーでは、Gミーティングの参加呼びかけポスター、G防登録加入促進チラシ、ゲンチャレ等のチラシを配布し当協会事業をPR

2 二輪車防犯活動

(1) G防犯登録の普及促進

○登録状況

- ・登録件数は新車、中古車合わせて300,638件で、前年比2,887件・1.0%増
- ・新車登録件数（国内4銘柄）187,823件で出荷台数比46.3%
- ・累計登録件数は2,698,861件で保有台数比22.6%

○登録加入促進状況

- ・銘柄別・都道府県別G防犯新車登録計画を策定し、G防部会員を通じて各販社担当者への加入促進を要請
- ・各ブロック総会及び全国専務理事会議で都道府県別登録状況を説明し、加入促進を要請
- ・ホームページでの広報、加入チラシの作成と二輪車関係イベントでの配布
- ・国内4メーカー販社及び県二普協への情報提供と加入促進の要請
- ・制度推進の優良販売店128店、優良地域団体42団体への会長賞の授与

○G防犯登録入力システムの改善

- ・現場の警察官の照会精度の向上と各県入力システムのバージョンアップを2年計画で実施。1年目として警察庁へのG防データの電送化を完了し運用を開

始

(2) 二輪車盗難照会システムの普及促進

○加盟店数及び照会実施状況

- ・平成23年12月末の加盟店数は3,355店。昨年の照会件数は1,057,986件
- ・平成17年8月の運用開始以降の累計照会件数は5,049,774件

○システム普及促進状況

- ・稼働歴のない111店に対し、システム運用を奨励する文書発出
- ・国内4メーカー販社に対し新規加入促進への取り組みを要請。75店が加入

3 広報活動

- ・ホームページの登載内容の更新など常に最新情報を提供するとともに、見やすさに配慮して画面を改善。また、アクセスを容易にするため関連団体とのリンクを拡大
- ・普及協ニュース、ポスター、チラシ等の広報媒体の作成・配布

4 会議の開催状況

- ・通常総会、常任理事会・理事合同会議、全国専務理事会議、運営委員会などの開催

5 個人情報の保護の徹底

- ・G防入力業務を行っている二普協ブロック協議会事務局及び県二普協にG防システム部長を派遣し、個人情報保護の状況を監査するとともに、G防入力に関する留意事項等について指導

6 一般社団法人への移行

- ・平成23年11月7日に一般社団法人への移行認可を申請
- ・平成24年3月22日に内閣総理大臣から認可。同4月1日に登記。移行を完了



平成24年度事業計画（要旨）

1 二輪車安全運転普及活動の推進

二輪車の利用が更に広がるよう、二輪車ユーザーの安全運転意識と技能の向上のための講習会の開催、二輪免許取得予定者に対する必要な情報提供等を積極的に推進する。

(1) 店頭個別安全指導活動の推進

ア グッドライダー宣言に沿った安全指導の実施

イ 安全運転指導員在籍店の拡大とその周知徹底

(2) 各種安全運転講習会の開催

ア グッドライダーミーティングの積極的開催

- ・ 全県開催の実現を図る
- ・ 警察及び関係機関との緊密な連携と協力依頼
- ・ 指導員研修会の開催
- ・ 全国統一アンケートによる実施要領の改善

イ 高校生等を対象とした安全運転講習会の推進

ウ 地域二普協が実施する安全運転講習会への協力、支援

(3) 免許取得支援活動の推進

ア ホームページを活用した免許取得方法と各教材等の情報発信

イ 「原付試験問題にチャレンジ」サイトの利用促進

ウ 改訂版「バイクと法令」「原付と安全運転」（警察庁監修）の利用促進

(4) 二輪車安全運転推進運動の実施

ア 「バイクの安全な乗り方」等の資料を活用した

店頭個別安全指導の実施

イ ヘルメットの正しい着用とプロテクター装着の指導実施

ウ ポスター、チラシ等を活用した広報啓発活動の実施

(5) 関係機関・団体との連携活動の推進

ア 第45回二輪車安全運転全国大会への協力支援

イ 二輪車安全運転推進委員会が行う特別指導員・指導員の審査及び研修への協力

2 二輪車防犯活動の推進

グッドライダー防犯登録及び盗難照会システムの普及促進を図り、盗難二輪車の早期発見と市場流通を防止し、被害回復及び二次犯罪の防止を図る。

(1) グッドライダー防犯登録の加入促進

ア グッドライダー防犯登録計画の策定と達成

イ 警察、二輪車メーカー、銘柄販社等への必要な協力要請

ウ 登録データー入力システムの改善

(2) 二輪車盗難照会システムの利用促進

ア 未稼働販売店に対する利用促進についてのPR

イ 加入促進の継続

3 広報活動の推進

4 表彰の実施

5 個人情報の保護の徹底

6 一般社団法人移行後の諸手続の推進

役員の改選

役員の任期満了に伴い、次の方が新役員に選出されました。(敬称略)

▽会 長＝福井威夫

▽専務理事＝井内正晴

▽常務理事＝太田昭雄

▽理 事＝木村 稔、濱本英信、河野健二、成田睦郎、奥村浩二、池本憲治、原淳一郎、星野 護、
宮寄拓郎、中澤見山、水田龍二、石黒壽佐夫、細谷昌裕、亀倉康悦

▽監 事＝品田信夫、木内正明、石黒芳紀、山内 秀

宮城・広島両県に警察庁・全国二普協連名表彰 千葉・富山・大阪・岡山には会長表彰

ー平成23年度活動実績優秀県に対する表彰ー



定時総会時に行われる「活動実績優秀県」に対する表彰。今年度は、特に優秀な実績を収めた宮城、広島両県に対して警察庁交通局長・生活安全局長・全国二普協会長の三者連名による表彰が行われた。また、これに準ずる実績を収めた千葉・富山・大阪・岡山の4県に対しては、全国二輪車安全普及協会会長賞が授与された。

表彰式では、三者連名の表彰状を石井警察庁交通局長が宮城・広島両県に授与するとともに、会長賞を福井会長が授与した。

最後に受賞県を代表して、宮城県二輪車安全普及協会の八木橋政吾会長が謝辞を述べた。

社会の要請に 積極的に応える

謝 辞

本日は活動実績優秀県表彰式にあたり、栄えある受賞をいただき誠にありがとうございます。

宮城県、広島県、千葉県、富山県、大阪府、岡山県二輪車安全普及協会を代表いたしまして御礼の言葉を申し上げます。

私どもは日頃よりお客様に対しまして、安全・安心、そして快適なバイクライフを提供することに取り組んでまいりました。

グッドライダー防犯登録の普及に関しましては、県警本部のご指導を賜り、ブロック会会員販売店90店の密接な連携のもとに推進してまいりました。

今後はさらに、グッドライダー防犯登録はもとより、二輪車盗難照会システムの加入促進を含め、二輪車事故撲滅のためグッドライダーミーティングの充実を図り、二輪車の安全普及という社会の



要請に対しまして積極的に応え、本日の受賞に恥じない成果をもってお応えしたいと考えております。

警察庁をはじめ、関係各位の今まで以上のご指導ご鞭撻をいただきますとともに、全国二普協ならびに各県二普協様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、感謝の言葉とさせていただきます。

また、昨年の東日本大震災に際しましては、各方面より多大なご支援をいただきまして本当にありがとうございました。

宮城県二輪車安全普及協会 会長 八木橋政吾



意見交換会あいさつ

二輪車の優位性を改めてアピール

日本自動車工業会二輪車特別委員会企画部会部会長 世古 俊晴

ただいまご紹介をいただきました日本自動車工業会二輪車特別委員会企画部会長を勤めております世古と申します。本日は委員長の柳が所用のため欠席となりましたので、私が代わりましてご挨拶申し上げます。

まず最初に、全国二普協さんの総会が成功裏に終わったこと、誠におめでとうございます。また、一般社団法人化されたということで、日本自動車工業会と同じ肩書きということで、今後益々の活動の成果を上げられますことを祈念いたします。

今年も4ヶ月が経過しました。総需要は14万9,000台、前年比1.4%増ということで、ほぼ前年並みというところですが、スポーツバイクを中心にニューモデルの効果が多少出ています。ただ、本格的な需要回復には至っておりません。昨年の震災で二輪車が活躍したといったところが見られましたが、やはり二輪車の機動力の良さですとか、経済性の高さが再度、国や自治体にアピールしまして、これからの都市計画ですとか、交通社会の将来像の中に二輪車が活用いただけるように、引き続き自工会の方も提案していきたいと思っています。こういった市場の状況下にありますので、新車43万～44万台というお客様に毎年買っていただいているわけですが、この貴重なお客様を減らさないような努力が必要です。

珍しい調査ですが、バイクを手放した方の調査をこの度行いました。その結果をご紹介します。

約1,300名の方にバイクを手放した理由を聞きました。影響力の大きかった順に申し上げますと、1位は利用価値がなくなった。2位は引越しをした。3位は故障したが修理ができなかった。4位は就職・転職をした。そして5位に危ない思いをした。それから11位に事故に遭った。全体では42の回答がありました。詳しくは自工会のホームページをご覧いただきたいと思います。この中で、生活環境の変化でバイクを手放したというのは致し方ないと思いますが、危険な思いをしたとか事故に遭ったということに対しては、何らかの対策が打てるのではないかと考えています。

自工会は本年度も引き続き、交通安全事業として、原付の通学許可を認めている高校を対象に研修会を実施していきます。昨年との違いは、指導員マニュアルを策定しまして、統一的で一貫した指導ができるようレベルアップを図っていききたいと思います。事業を実施する際には、全二普協さん、二推さん、警察庁の関係者の方々にいろいろとご協力をいただくことがあろうかと思っています。よろしくお願いします。

最後になりますが、ご出席の皆様方の益々のご活躍をお祈りしまして、私の挨拶とさせていただきます。



意見交換会あいさつ

交通安全意識の高揚に貢献を

全日本交通安全協会専務理事 中澤 見山

全日本交通安全協会の専務理事の中澤でございます。

本日は新法人移行後の第1回目の総会が滞りなく行われまして、誠におめでとうございます。

さて、皆さんご承知のように、先月は京都の祇園で、また亀岡市で大勢の歩行者の方や通学途中の小学生の列に軽自動車が入り込み、またその後には、関越自動車道でバスが防音壁に突っ込むというような大変衝撃的な事故が起きました。われわれの毎日の生活が、本当に交通事故の危険と背中合わせに生きているのだと改めて思い起こされたところでございます。

こういった事故が起こると、いろいろな制度改正だとか、安全の面での手だてが講じられる訳ですが、こういう訳かまた次の新しい事故が起こってしまいます。いろいろな手だてを講じて、人の意識が変わらなければ、なかなかこういう事故はなくなってしまうと思います。

そういう意味で、業界の皆様方が二輪車の安全運転の普及活動を通して、今後、全国の交通安全意識の高揚に貢献いただくよう期待をしているところでございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

活動報告

1. グッドライダーミーティングの開催状況

**全国統一の広報ポスター・チラシを作成。全国33県で活用。
統一感を強め、訴求力を向上**

鳥取県初開催 !!

4月8日（日）、鳥取県自動車運転免許試験場において、二輪車安全普及協会、交通安全協会、鳥取県警察の主催により開催した。県内初開催ということで、定員30人に対し、参加者は42人（内女性4人）、年齢層も、高校生1人、20代6人、30代6人、40代12人、50～64歳10人、65歳以上1人と幅広く大盛況であった。

当日は、指導員13人、白バイ交通機動隊3人が指導に当たった。白バイの模範走行もあり、講習内容、教え方、雰囲気等、参加者の評価はどれも高く、満足感いっぱいの講習会であった。



参加者記念集合写真



乗車姿勢



ウォーミングアップ走行

平成24年度グッドライダーミーティング開催実績

本年度は、未実施県の鳥取県、福岡県、佐賀県、鹿児島県の初開催が計画され、積年の願いであった全県実施が完結する（9ページに計画一覧表）。

昨年は大震災の影響による中止などで計画変更があったが、今年は7月8日現在で、年間計画106回（前

年実績は94回）に対し43回を数え、計画比41%、動員目標4,925人（前年実績は3,313人）においても1,759人、計画比36%と順調な盛り上がりを見せており、参加者の評価は高い。

平成24年7月8日現在

二普協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員人数	内女性	指導員数	警察白バイ	二普協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員人数	内女性	指導員数	警察白バイ
北海道	6	300	3		163	27	31		滋賀	1	40						
青森	1	35							京都	2	160	1		23	4	4	
岩手	3	90	1		41	7	6		大阪	8	720	3		260	42	32	4
宮城	4	160	2		56	12	21	4	兵庫	2	180	1		40	3	6	3
秋田	1	25	1		17	2	1	5	奈良	2	140	1		29	6	5	2
山形	1	25	1		28	7	9	4	和歌山	2	140						
福島	1	35							鳥取	1	30	1		42	4	13	3
東京	5	250	2	1	82	9	28		島根	1	30	1		62	16	5	
茨城	2	90	1		15	3	12	5	岡山	1	30	1		44	6	9	
栃木	2	100	1		54	7	14	2	広島	3	90	2		67	7	16	6
群馬	2	120	1		52	7	13	6	山口	1	30						
埼玉	4	240	2		125	20	30	8	徳島	1	30						
千葉	6	330	1		68	9	19	6	香川	1	30						
神奈川	5	180	2		87	15	36	5	愛媛	1	50						
新潟	2	120	1		60	10	8	2	高知	1	30						
山梨	4	150	1		33	4	9	2	福岡	1	30						
長野	2	75	2		69	8	18	4	佐賀	1	20						
静岡	2	100	1		45	3	9	5	長崎	1	30	1		13	1	14	3
富山	2	100	1		34	2	8		熊本	4	120	1		11	5	5	2
石川	1	30							大分	7	170	3		38	5	18	1
福井	1	30	1		27	6	12		宮崎	1	20						
岐阜	1	50	1		40	7	9		鹿児島	1	30						
愛知	2	60	1		34	7	7		沖縄	1	30						
三重	1	50							合計	106	4,925	43	1	1,759	271	427	82
									計画比			41%		36%			

2. 高校生安全運転講習会の活動紹介

高知県

去る5月13日（日）、高知県で高校生を対象とした安全運転講習会が開催されました。この講習会は、県交通安全協会、県警本部交通機動隊の主催、県二輪車安全運転指導員協議会の後援、県二普協及び四国二輪車協会の協力によるものです。

受講生は、高知工業専門学校の3年生でバイク通学が許可された54名。同校では、バイク通学を許可した学生に対し年3回正しい乗り方講習を実施しており、本講習もその一環として行われたものです。

当日は二推指導員6名、交通機動隊2名が指導にあたりました。生徒の真剣な講習態度や取り組み姿勢の中に、学校、生徒、地域の関係に絆が随所に窺われました。単に技量向上だけではなく、「礼に始まり礼に終わる」「車両に乗る社会的責任」などの運転マナー向上についても指導し、これに対し真剣に受講している姿に指導教育の原点を垣間見ることができました。

高知県では今年度、高校生安全運転講習会を17校で行い、3,346名の動員を予定して



います。

なお、全国二普協の調べによると、今年度の高校生安全運転講習会は、全国26県で222校を対象に計画されています（下表参照）。

県二普協	計画回数	計画高校数	県二普協	計画回数	計画高校数	県二普協	計画回数	計画高校数
1 岩手	3	3	10 神奈川	9	9	19 香川	3	3
2 宮城	6	6	11 山梨	14	14	20 愛媛	11	16
3 山形	2	2	12 大阪	1	1	21 高知	17	17
4 東京	1	1	13 奈良	1	1	22 福岡	11	12
5 茨城	2	2	14 島根	1	1	23 長崎	16	16
6 栃木	38	45	15 岡山	1	1	24 熊本	7	7
7 群馬	1	1	16 広島	4	4	25 宮崎	2	2
8 埼玉	4	4	17 山口	6	6	26 鹿児島	36	40
9 千葉	1	1	18 徳島	7	7	計	205	222

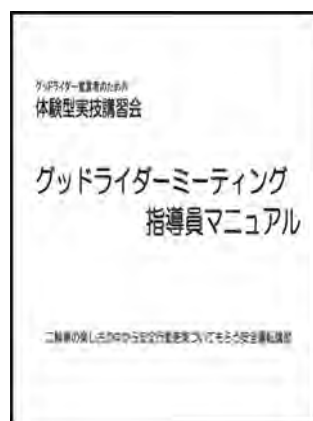
3. 指導員レベルアップ研修会の開催状況

グッドライダーミーティングの課題の1つ 指導員の均質化、高度化を目指して!!

(1) 関東1都9県合同研修会

グッドライダーミーティングが指導員マニュアルに基づいて的確に実施されるよう、指導方法、運営方法の標準化を図ることを目的とした指導員のレベルアップ研修会を、6月23～24日に関東1都9県のグッドライダーミーティングリーダー指導員16名、各県二普協の会長、専務理事、全国二普協よりの派遣講師、総勢34名で開催しました。

研修は、指導員マニュアルに沿って、グッドライダーミーティングの基本コンセプト、指導のポイント等を説明の後、各県から発表された開催状況に基づき、全員でディスカッション形式による現状把握と課題の共有化を図りました。太い幹の部分にブレがなくマニュアルの「意思」を遵守できれば、各県の個性を活かした課題構成や工夫を加えることを尊重する等の意見統一やモチベーションのアップを確認しました。



(2) 徳島県で開催

7月8日、徳島県中央自動車教習所において「二輪車安全運転指導員のあるべき姿」と題して、8名の指導員が参加して研修会を開催しました。

全国二普協より飯田、上田安全部会委員を講師として派遣し、指導員の心構えや立ち振る舞い、グッドライダーミーティングの基本コンセプト、実技ではロールプレイングを通して、「体操・点検・姿勢」「ブレーキ：全制動、フロントのみ、リアのみ、フルロック等」「バランス：パイロンスラローム、一本橋、8の字、千鳥等」「コーナリング：フォーム、先導方法等」、指導員のスキルアップを図りました。

徳島県では昨年までグッドライダーミーティングの指導員は他県からの応援で運営していました。今年（10月14日開催）から自県の指導員のみで運営することを目指し、この研修を開催したものです。



研修の仕上げに、本番の運用コースの検討を行い、開催の成功を誓い合いました。

4. 免許取得支援活動の活性化

～「ゲンチャレ」開設後の状況～

全国二普協サイトへの来訪者急増!!

全国二普協では、運転免許を取得しようとする時点での交通安全教育は、大きな効果が期待できることから、必要な情報を提供して免許取得を支援し、ルールとマナーを重んじるグッドライダーの育成を推進するため、適齢者をメイン対象としたモバイルコンテンツ（ホームページ、スマートフォン、携帯電話からアクセスできる「通称ゲンチャレサイト」）を3月1日から開設しました（図1・図2）。コンテンツを提供することで、免許取得を支援し、併せて二普協事業の理解促進に繋げるのが狙いです。

- サイト開設に併行して、会員販売店向けにポスター5,000枚、チラシ100,000枚を配布し広報啓発活動を推進しています。更に、同サイトで紹介している全国二普協発行の「バイクと法令」「原付試験問題集」等の教本販売システムを構築し、販売促進中です（図3・図4）。
- 開設前2月の全ページ訪問者は20,036人でしたが、開設後の3月は44,814人、4月は34,813人、5月は40,244人、6月は44,563人と訪問者が急増しており、その内ゲンチャレ訪問者は65%を占めています（図5）。



（図1）ホームページサイト



（図2）問題等にチャレンジ



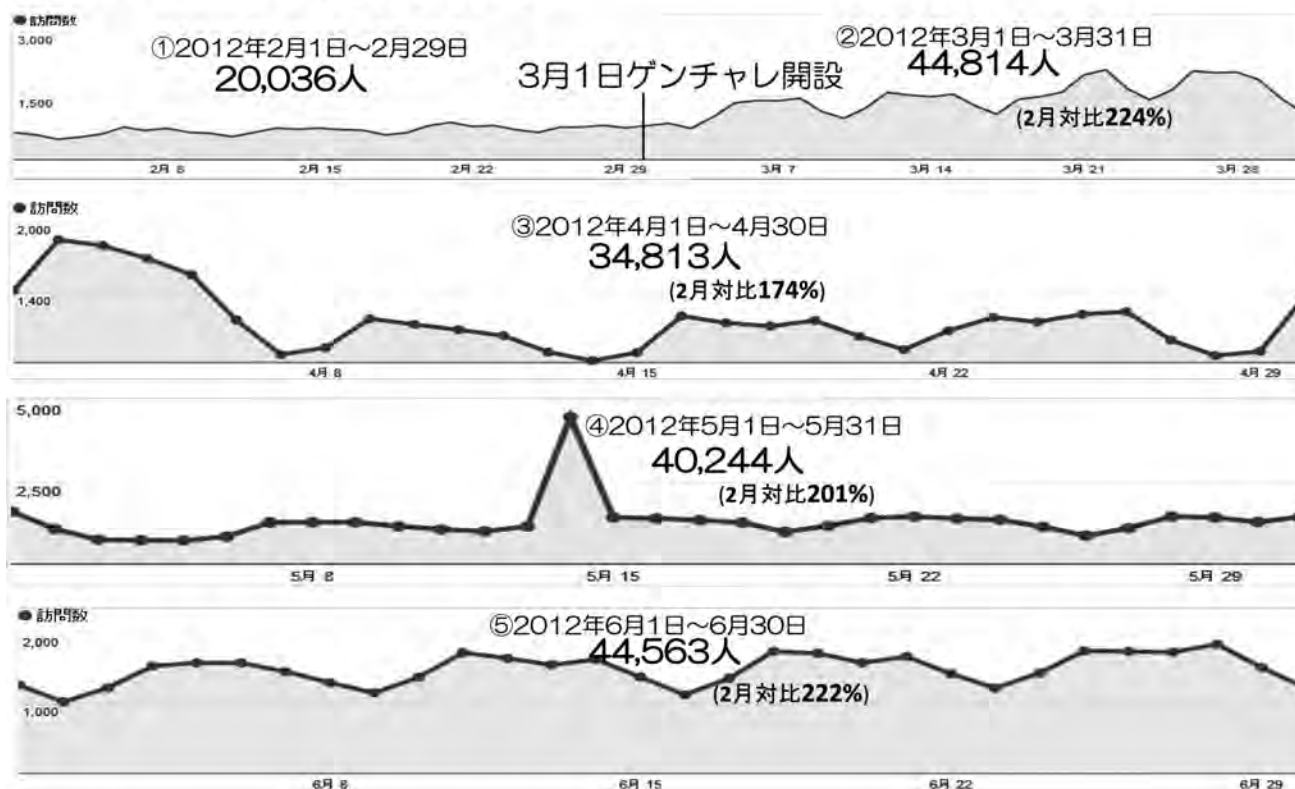
（図3）会員販売店向け広報ポスター・チラシ



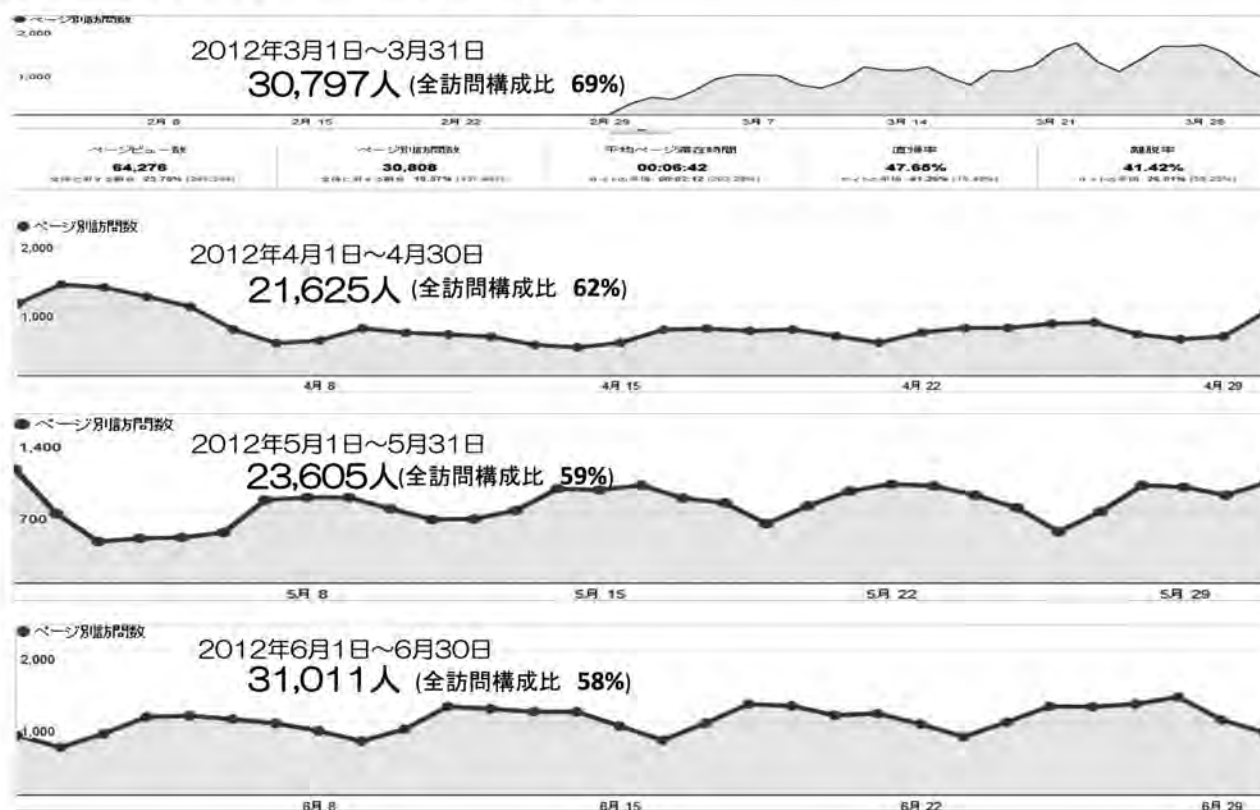
（図4）平成24年4月改訂

(図5)

■ 全ページ訪問者数



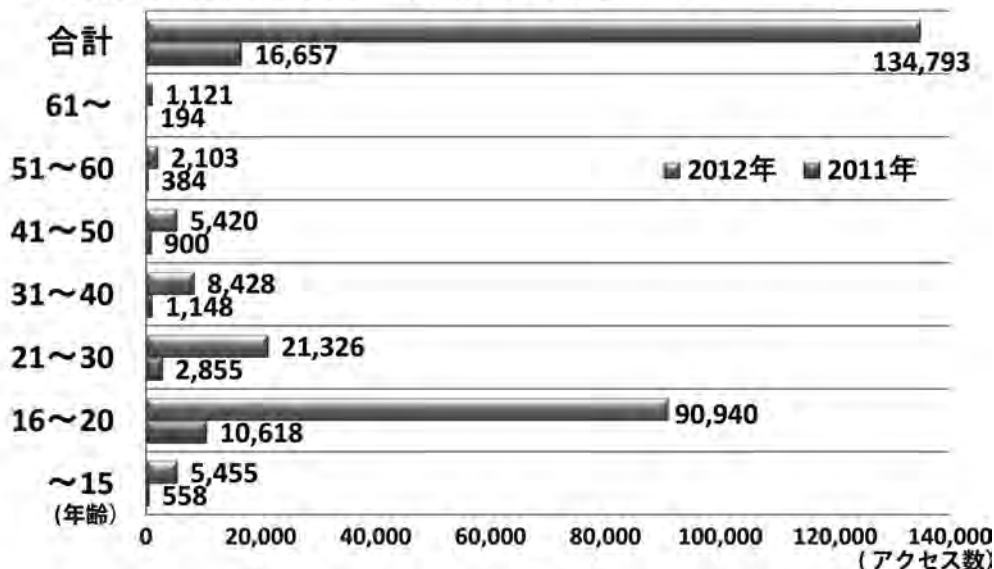
■ ゲンチャレ 訪問者数



○ サイトから試験問題にチャレンジした、チャレンジアクセス数（3月1日～6月30日）は、前年同月比16～20歳では約8.5倍、全体でも8倍という驚異的アクセスでした（図6）。

このように、原付試験問題へのチャレンジが飛躍的に高まっていることから、安全で快適な二輪車の利用促進へ向け、ゲンチャレサイト開設の効果は大きく現れており、今後への期待が更に膨らんでいるところです。

（図6）年齢層別原付試験問題へのアクセス数（2012.3.1～06.30）



世代別	～15	16～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～	合計	男	女
2011年	558	10,618	2,855	1,148	900	384	194	16,657	12,057	4,600
2012年	5,455	90,940	21,326	8,428	5,420	2,103	1,121	134,793	94,442	40,351
伸長率	978%	856%	747%	734%	602%	548%	578%	809%	783%	877%
構成比	4.0%	67.5%	15.8%	6.3%	4.0%	1.6%	0.8%	100%	70.1%	29.9%

「ゲンチャレ」が
ヤフー、グーグルの
検索ページトップに昇格



平成24年安全功労者内閣総理大臣表彰

栃木県二普協が受賞

都府県地区二普協として初めて



総理大臣官邸で行われた表彰式。写真右端が曾根会長

栃木県二輪車安全普及協会（会長：曾根賢二・専務理事：福島小善治）は、都府県地区二輪車安全普及協会として初めて「平成24年安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。去る7月2日、総理大臣官邸での表彰式には曾根会長が出席し表彰状が授与されました。

「安全功労者内閣総理大臣表彰」は、7月1日が“国民安全の日”であることにちなみ、交通安全や火災予防など、国民の安全の確保について顕著な功績があった者を表彰するものです。今回は栃木県二普協をはじめ、合わせて25の個人・団体が栄えある表彰を受けました。

表彰式では、受賞者代表に対して野田総理大臣が表彰状を手渡した後、総理大臣の挨拶、受賞者代表謝辞、記念写真撮影、記念パーティーが行われました。

今回の栃木県二普協の受賞は、昭和47年の設立以来、二輪車運転者の安全運転技能の向上や交通法規・マナーの遵守等を目的とした講習会を開催するとともに、秋の交通安全運動が行われる9月の「二輪車安全運転推進月間」に毎年、ポスター・チラシの配布、街頭指導を行っているほか、警察等の関係機関・団体と連携し、高校生を対象にした二輪車安全運転講習を共催す

るなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚への多大な貢献が認められたものです。

栃木県二普協関係者の皆様の日頃からの地道な取り組みが高く評価されたものであり、他の都府県地区二輪車安全協会にとって大きな励みになるものと思われます。

心よりお祝いを申し上げますとともに、ご活動に深く敬意と感謝を申し上げます。

このたび、栃木県二輪車安全普及協会は平成24年安全功労者内閣総理大臣表彰という大変名誉な賞をいただきました。これもひとえに昭和47年の協会設立以来、二輪車の事故防止に向けた当協会事業に対する関係機関、団体の皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

また、今回の栄えある賞は、永年に亘り、地道な安全普及活動を行ってまいりました地域二輪車安全普及協会の会員皆様への賞でもございます。

この受賞を機に、引き続き交通事故防止に向けた活動に積極的に取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

栃木県二輪車安全普及協会
会長 曾根 賢二



表彰盾



表彰状

5月末の交通事故死、前年比145人減

— 二輪車乗車中は65人減 —

(平成24年5月末／警察庁資料)

		自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全 死 者 数		
		24年 5月末	増減数	23年 5月末	24年 5月末	増減数	23年 5月末	24年 5月末	増減数	23年 5月末	24年 5月末	増減数	23年 5月末
北海道		2	-3	5	1	1	0	3	-2	5	66	21	45
東北	青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	-3	17
	岩手	0	0	0	1	-2	3	1	-2	3	35	13	22
	宮城	0	0	0	1	-3	4	1	-3	4	25	-9	34
	秋田	1	0	1	0	0	0	1	0	1	19	-7	26
	山形	0	-1	1	0	-1	1	0	-2	2	14	-3	17
	福島	0	-1	1	3	-1	4	3	-2	5	32	7	25
	計	1	-2	3	5	-7	12	6	-9	15	139	-2	141
東京		17	0	17	3	0	3	20	0	20	62	-19	81
関東	茨城	2	-1	3	8	3	5	10	2	8	60	-8	68
	栃木	0	-3	3	4	1	3	4	-2	6	25	-23	48
	群馬	3	-2	5	1	-2	3	4	-4	8	39	2	37
	埼玉	10	0	10	5	-6	11	15	-6	21	85	7	78
	千葉	5	-1	6	6	4	2	11	3	8	70	15	55
	神奈川	11	-11	22	4	0	4	15	-11	26	58	-8	66
	新潟	1	-2	3	1	-2	3	2	-4	6	30	-20	50
	山梨	4	4	0	0	0	0	4	4	0	13	-9	22
	長野	1	0	1	0	-2	2	1	-2	3	35	-22	57
	静岡	10	6	4	2	-1	3	12	5	7	62	4	58
	計	47	-10	57	31	-5	36	78	-15	93	477	-62	539
中部	富山	1	0	1	0	0	0	1	0	1	18	-6	24
	石川	1	1	0	1	1	0	2	2	0	12	-7	19
	福井	1	1	0	0	-2	2	1	-1	2	8	-11	19
	岐阜	4	-1	5	3	2	1	7	1	6	52	19	33
	愛知	7	-8	15	4	-3	7	11	-11	22	93	0	93
	三重	2	0	2	4	0	4	6	0	6	33	-4	37
	計	16	-7	23	12	-2	14	28	-9	37	216	-9	225
近畿	滋賀	0	-2	2	2	0	2	2	-2	4	30	-8	38
	京都	8	4	4	3	-2	5	11	2	9	43	4	39
	大阪	8	-6	14	8	0	8	16	-6	22	66	-28	94
	兵庫	8	-3	11	8	3	5	16	0	16	64	-5	69
	奈良	5	4	1	1	0	1	6	4	2	19	2	17
	和歌山	4	2	2	5	3	2	9	5	4	23	0	23
	計	33	-1	34	27	4	23	60	3	57	245	-35	280
中国	鳥取	0	-1	1	0	-1	1	0	-2	2	9	-1	10
	島根	1	1	0	0	0	0	1	1	0	17	5	12
	岡山	5	0	5	3	-1	4	8	-1	9	48	4	44
	広島	1	-4	5	1	-4	5	2	-8	10	47	7	40
	山口	1	-1	2	0	-1	1	1	-2	3	17	-7	24
	計	8	-5	13	4	-7	11	12	-12	24	138	8	130
四国	徳島	0	-2	2	1	-3	4	1	-5	6	10	-12	22
	香川	0	-4	4	3	1	2	3	-3	6	23	-16	39
	愛媛	2	-2	4	4	-1	5	6	-3	9	29	-14	43
	高知	1	-1	2	3	3	0	4	2	2	21	2	19
	計	3	-9	12	11	0	11	14	-9	23	83	-40	123
九州	福岡	4	0	4	3	-6	9	7	-6	13	62	0	62
	佐賀	0	0	0	1	1	0	1	1	0	15	1	14
	長崎	0	-4	4	2	0	2	2	-4	6	15	-5	20
	熊本	2	-4	6	3	0	3	5	-4	9	33	4	29
	大分	2	-1	3	2	2	0	4	1	3	18	2	16
	宮崎	1	-1	2	2	2	0	3	1	2	20	-2	22
	鹿児島	0	-4	4	3	3	0	3	-1	4	27	-5	32
	沖縄	3	2	1	1	-2	3	4	0	4	17	-2	19
	計	12	-12	24	17	0	17	29	-12	41	207	-7	214
合計		139	-49	188	111	-16	127	250	-65	315	1,633	-145	1,778

グッドライダー防犯登録、累計265万件に達する

— 保有台数比22.2% 地域格差の解消が課題 —

(一社)全国二輪車安全普及協会
(平成24年6月末)

都道府県	H24.1月～ H24.6月 出荷台数 A	H22年3月末 保有台数 B	H23年12月末 7年満期削除済 C	H24年 6月 D	登録		削除		累計	
					H24.1月～ H24.6月 E	出荷台数 比(E/A)	H16年 6月 F	H16.1月～ H16.6月 G	H(C+E-G)	H22年保有 台数比(H/B)
北海道	1,850	216,302	12,911	164	596	32.2	252	454	13,053	6.0
青森県	690	87,152	11,664	149	528	76.5	205	1,026	11,166	12.8
岩手県	964	107,575	10,071	75	512	53.1	148	891	9,692	9.0
宮城県	3,525	181,865	55,499	557	3,505	99.4	507	3,799	55,205	30.4
秋田県	276	60,989	3,236	30	156	56.5	52	290	3,102	5.1
山形県	519	82,902	7,170	96	401	77.3	120	510	7,061	8.5
福島県	1,328	153,119	10,847	119	644	48.5	136	830	10,661	7.0
東北計	7,302	673,602	98,487	1,026	5,746	78.7	1,168	7,346	96,887	14.4
東京都	22,805	1,037,715	265,473	2,086	12,630	55.4	3,659	21,383	256,720	24.7
茨城県	3,208	246,855	25,862	284	1,937	60.4	240	1,431	26,368	10.7
栃木県	1,954	174,988	15,639	137	768	39.3	132	1,103	15,304	8.7
群馬県	1,637	166,198	17,073	143	876	53.5	182	1,356	16,593	10.0
埼玉県	11,538	586,902	178,360	1,252	7,606	65.9	1,922	11,855	174,111	29.7
千葉県	8,497	491,556	75,652	669	4,717	55.5	870	5,057	75,312	15.3
神奈川県	19,634	961,589	185,772	2,041	11,660	59.4	1,475	12,059	185,373	19.3
新潟県	1,378	194,269	11,459	123	650	47.2	148	835	11,274	5.8
山梨県	1,675	118,022	36,649	351	2,345	140.0	305	2,275	36,719	31.1
長野県	1,752	209,506	27,224	267	1,229	70.1	450	2,450	26,003	12.4
関東計	74,078	4,187,600	839,163	7,353	44,418	60.0	9,383	59,804	823,777	19.7
静岡県	8,013	450,799	49,408	502	3,327	41.5	377	2,547	50,188	11.1
富山県	459	56,491	4,256	35	253	55.1	78	301	4,208	7.4
石川県	707	66,608	6,876	33	283	40.0	112	529	6,630	10.0
福井県	475	42,749	5,776	46	258	54.3	98	370	5,664	13.2
岐阜県	1,221	126,448	7,384	77	423	34.6	38	191	7,616	6.0
愛知県	9,722	517,676	81,215	846	5,401	55.6	477	3,046	83,570	16.1
三重県	2,580	187,596	36,150	206	1,504	58.3	432	3,024	34,630	18.5
中部計	23,177	1,448,367	191,065	1,745	11,449	49.4	1,612	10,008	192,506	13.3
滋賀県	1,978	135,565	51,617	420	2,540	128.4	1,214	5,045	49,112	36.2
京都府	9,169	405,375	120,001	1,192	7,456	81.3	2,193	9,111	118,346	29.2
大阪府	23,641	1,009,237	403,276	3,255	21,270	90.0	6,702	29,287	395,259	39.2
兵庫県	12,181	636,293	106,009	1,397	8,513	69.9	818	2,838	111,684	17.6
奈良県	3,001	200,088	24,623	186	1,184	39.5	615	2,262	23,545	11.8
和歌山県	3,969	212,211	48,296	348	2,494	62.8	1,524	5,061	45,729	21.5
近畿計	53,939	2,598,769	753,822	6,798	43,457	80.6	13,066	53,604	743,675	28.6
鳥取県	299	33,857	8,437	60	255	85.3	129	745	7,947	23.5
島根県	618	54,483	20,576	163	841	136.1	379	1,621	19,796	36.3
岡山県	3,317	204,795	96,951	783	4,603	138.8	1,233	7,641	93,913	45.9
広島県	8,003	374,388	267,041	2,225	13,563	169.5	2,994	21,202	259,402	69.3
山口県	1,973	122,611	48,112	546	1,718	87.1	587	3,346	46,484	37.9
中国計	14,210	790,134	441,117	3,777	20,980	147.6	5,322	34,555	427,542	54.1
徳島県	1,264	92,742	11,838	120	669	52.9	123	599	11,908	12.8
香川県	1,975	126,784	8,087	323	1,099	55.6	44	314	8,872	7.0
愛媛県	5,238	235,106	123,374	1,247	6,669	127.3	1,489	8,796	121,247	51.6
高知県	1,909	118,881	29,742	365	1,561	81.8	301	2,148	29,155	24.5
四国計	10,386	573,513	173,041	2,055	9,998	96.3	1,957	11,857	171,182	29.8
福岡県	7,531	428,362	50,512	486	3,259	43.3	545	3,077	50,694	11.8
佐賀県	572	69,606	1,773	12	77	13.5	4	10	1,840	2.6
長崎県	2,472	169,339	12,535	90	433	17.5	245	1,251	11,717	6.9
熊本県	4,137	203,115	39,030	366	2,806	67.8	520	3,035	38,801	19.1
大分県	1,759	121,240	13,249	106	828	47.1	180	911	13,166	10.9
宮崎県	1,409	104,113	12,365	124	749	53.2	70	1,021	12,093	11.6
鹿児島県	3,391	209,307	41,676	163	1,523	44.9	797	4,493	38,706	18.5
沖縄県	2,485	166,550	18,115	22	1,120	45.1	102	719	18,516	11.1
九州計	23,756	1,471,632	189,255	1,369	10,795	45.4	2,463	14,517	185,533	12.6
全国計	208,698	11,959,919	2,698,861	24,287	147,439	70.6	35,223	192,145	2,654,155	22.2

二輪車盗難件数、前年比14.3%減 — 被害回復率42.8%、31県で回復率アップ —

(平成24年6月末／警察庁資料)

盗難認知／被害回復状況

(一社)全国二輪車安全普及協会

		(年間比較)			<警察庁情報>			(前年同期間比較)						
都道府県	G防普及率 H24年6月	平成22年			平成23年			都道府県	平成23年 1月～6月			平成24年 1月～6月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	6.0	362	188	51.9	352	209	59.4	北海道	138	78	56.5	124	38	30.6
青森県	12.8	39	19	48.7	33	17	51.5	青森県	12	5	41.7	7	2	28.6
岩手県	9.0	32	19	59.4	39	9	23.1	岩手県	18	2	11.1	24	7	29.2
宮城県	30.4	832	392	47.1	618	298	48.2	宮城県	332	157	47.3	190	108	56.8
秋田県	5.1	21	11	52.4	15	11	73.3	秋田県	8	3	37.5	10	4	40.0
山形県	8.5	64	36	56.3	54	24	44.4	山形県	29	9	31.0	14	2	14.3
福島県	7.0	268	151	56.3	200	130	65.0	福島県	104	64	61.5	58	31	53.4
東北計	14.4	1,256	628	50.0	959	489	51.0	東北計	503	240	47.7	303	154	50.8
東京都	24.7	6,709	1,796	26.8	6,429	1,839	28.6	東京都	3,274	876	26.8	2,603	807	31.0
茨城県	10.7	1,679	329	19.6	1,690	301	17.8	茨城県	912	167	18.3	755	81	10.7
栃木県	8.7	526	114	21.7	372	49	13.2	栃木県	188	24	12.8	134	28	20.9
群馬県	10.0	563	178	31.6	569	218	38.3	群馬県	309	97	31.4	250	101	40.4
埼玉県	29.7	5,858	764	13.0	4,658	909	19.5	埼玉県	2,621	444	16.9	1,936	394	20.4
千葉県	15.3	4,423	1,718	38.8	3,105	1,297	41.8	千葉県	1,582	695	43.9	1,398	478	34.2
神奈川県	19.3	7,344	3,024	41.2	7,151	3,202	44.8	神奈川県	3,566	1,516	42.5	2,747	1,348	49.1
新潟県	5.8	178	70	39.3	148	57	38.5	新潟県	51	16	31.4	44	15	34.1
山梨県	31.1	757	319	42.1	770	352	45.7	山梨県	336	164	48.8	356	185	52.0
長野県	12.4	222	96	43.2	176	86	48.9	長野県	74	46	62.2	81	44	54.3
関東計	19.7	28,259	8,408	29.8	25,068	8,310	33.1	関東計	12,913	4,045	31.3	10,304	3,481	33.8
静岡県	11.1	1,666	847	50.8	1,394	818	58.7	静岡県	659	415	63.0	546	307	56.2
富山県	7.4	69	45	65.2	67	47	70.1	富山県	33	23	69.7	32	14	43.8
石川県	10.0	145	55	37.9	103	68	66.0	石川県	49	34	69.4	44	16	36.4
福井県	13.2	121	51	42.1	124	77	62.1	福井県	47	33	70.2	29	19	65.5
岐阜県	6.0	537	319	59.4	586	333	56.8	岐阜県	235	124	52.8	300	178	59.3
愛知県	16.1	4,655	1,018	21.9	3,878	933	24.1	愛知県	1,958	446	22.8	1,599	467	29.2
三重県	18.5	760	411	54.1	874	421	48.2	三重県	410	187	45.6	427	241	56.4
中部計	13.3	7,953	2,746	34.5	7,026	2,697	38.4	中部計	3,391	1,262	37.2	2,977	1,242	41.7
滋賀県	36.2	708	245	34.6	622	177	28.5	滋賀県	323	86	26.6	260	103	39.6
京都府	29.2	3,083	1,229	39.9	2,975	1,302	43.8	京都府	1,603	640	39.9	1,133	559	49.3
大阪府	39.2	9,422	3,571	37.9	8,707	3,266	37.5	大阪府	4,262	1,538	36.1	3,785	1,384	36.6
兵庫県	17.6	5,644	2,273	40.3	5,060	1,804	35.7	兵庫県	2,227	783	35.2	2,446	938	38.3
奈良県	11.8	968	380	39.3	828	374	45.2	奈良県	450	191	42.4	320	166	51.9
和歌山県	21.5	578	272	47.1	457	215	47.0	和歌山県	263	103	39.2	196	90	45.9
近畿計	28.6	20,403	7,970	39.1	18,649	7,138	38.3	近畿計	9,128	3,341	36.6	8,140	3,240	39.8
鳥取県	23.5	46	21	45.7	60	34	56.7	鳥取県	20	12	60.0	21	26	123.8
島根県	36.3	23	19	82.6	35	23	65.7	島根県	13	9	69.2	7	10	142.9
岡山県	45.9	1,300	764	58.8	1,675	1,035	61.8	岡山県	674	381	56.5	662	434	65.6
広島県	69.3	1,176	792	67.3	1,190	765	64.3	広島県	525	334	63.6	571	381	66.7
山口県	37.9	268	136	50.7	189	78	41.3	山口県	84	31	36.9	111	54	48.6
中国計	54.1	2,813	1,732	61.6	3,149	1,935	61.4	中国計	1,316	767	58.3	1,372	905	66.0
徳島県	12.8	160	80	50.0	130	84	64.6	徳島県	64	27	42.2	39	22	56.4
香川県	7.0	794	385	48.5	572	268	46.9	香川県	282	112	39.7	205	137	66.8
愛媛県	51.6	1,231	496	40.3	1,140	401	35.2	愛媛県	614	189	30.8	426	156	36.6
高知県	24.5	433	264	61.0	320	204	63.8	高知県	160	113	70.6	123	74	60.2
四国計	29.8	2,618	1,225	46.8	2,162	957	44.3	四国計	1,120	441	39.4	793	389	49.1
福岡県	11.8	6,432	3,905	60.7	7,066	4,412	62.4	福岡県	3,199	1,999	62.5	3,048	1,921	63.0
佐賀県	2.6	261	159	60.9	340	235	69.1	佐賀県	216	121	56.0	78	65	83.3
長崎県	6.9	265	169	63.8	192	133	69.3	長崎県	102	86	84.3	74	43	58.1
熊本県	19.1	606	441	72.8	584	381	65.2	熊本県	240	169	70.4	447	332	74.3
大分県	10.9	379	228	60.2	399	219	54.9	大分県	152	79	52.0	180	93	51.7
宮崎県	11.6	158	71	44.9	126	68	54.0	宮崎県	54	34	63.0	77	39	50.6
鹿児島県	18.5	546	324	59.3	444	270	60.8	鹿児島県	209	122	58.4	178	156	87.6
沖縄県	11.1	1,180	312	26.4	1,260	389	30.9	沖縄県	620	186	30.0	459	132	28.8
九州計	12.6	9,827	5,609	57.1	10,411	6,107	58.7	九州計	4,792	2,796	58.3	4,541	2,781	61.2
全国計	22.2	73,491	28,506	38.8	67,776	27,842	41.1	全国計	33,301	12,970	38.9	28,554	12,230	42.8

(注) G・防普及率
6月末G防果計件数
H22年3月保有台数

<H22対H23比較>

①盗難認知件数 -5,715 -7.8%

・前年同期間比較 ①認知件数 -4,747 -14.3%

②認知件数の増減(県の数)

	県数
認知増県数	13
認知減県数	34
計	47

③回復率の増減(県の数)

	県数
回復率ダウン	16
回復率アップ	31
計	47

泉澤前岩手県二普協専務理事に感謝状

～永年にわたる功績を称える～

永年にわたり岩手県における二輪車安全普及活動にご尽力いただいた泉澤敏夫岩手県二輪車安全普及協会前専務理事に、全国二輪車安全普及協会福井会長より感謝状を贈呈しました。

去る6月5日に実施した東北二輪普及協ブロック協議会・東北6県二普協総会において、全国二普協の太田常務理事が感謝状を授与しました。

泉澤氏は、平成12年に岩手県二普協専務理事に就

任。以来12年の長きにわたり二輪車安全普及活動に積極的に取り組んで来られました。

特に全国的にもいち早くGミーティング開催を実現し、東北各県開催の模範となったのをはじめ、県内地区二普協の一本化や二輪車の災害ボランティアネットワークの設立など、東北管内におけるスムーズな二輪車安全普及活動の実現の礎を築いていただきました。

永年のご功労に感謝申し上げます。



「二推規定集・二輪車安全運転講習指導の手引」の配布

二輪ライダーの交通事故防止等のために、各県交通安全協会に設置されている「二輪車安全運転推進委員会」とは、密接な連携活動を推進していかなければなりません。このたび、「二推規定集」「二輪車安全運転講習指導の手引」（編集・発行：全日本交通安全協会・

二輪車安全運転推進委員会）を都府県地区二輪車安全普及協会に配布いたしました。

二推規定集内の「二輪車安全運転推進要綱」に規定されている、二輪車安全運転講習をはじめとする二推事業実施に対する都道府県二輪車安全運転推進委員会と都府県地区二輪車安全普及協会との協力関係に関する内容等の再確認により、今まで以上に、都道府県交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会との連携強化を図り、Gミーティング等の安全運転普及活動の推進を図っていきたいと考えています。

編集後記

平成24年度定時総会は、滞りなく終了することができました。

御出席いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

このたびの栃木県二輪車安全普及協会の安全功労者内閣総理大臣表彰の受賞、まことにおめでとうございます。曾根会長をはじめとする関係者の皆様の活動に対し深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、最近の社会の動きから思い浮かんだ言葉があります。それは、「大同小異」という言葉です。ご承知のとおり、小さな違いはあっても大体が同じであるとの意ですが、以前、この言葉が脚光を浴びた時があります。それは、昭和47年6月、時の田中角栄首相が訪中し日中国交正常化交渉が行われた時のことです。意見の対立により交渉は難航し調印は難しいのではない

かと思われましたが、周恩来首相の「小異を残し大同につく」という言葉により、双方が歩み寄り、かろうじて調印に至ったということがありました。

最近、小異を強調し大同を忘れていないのではないかとされるニュースが多いように感じています。もちろん、小さなことにもこだわりを持つことは必要なことであり大事なことです。しかし、事柄においては、あまりにも小異にこだわり過ぎて、木を見て森を見ずということに陥らないように気を付けることも必要だなと感じています。

おわりに、協会も一般社団法人として新たな船出をして早3か月余が経過しましたが、今後も、当協会の事業推進と諸課題の改善のために皆様のご理解とご支援そしてご協力をこれまで以上によろしくお願い申し上げます。